説明会に同席した県として
その結果をとりまとめた資料

資料1

リニア説明会の開催結果について

１　要旨

ＪＲ東海は、「水資源の保全に向けた取組」等について、県は、「モニタリング体制」等について丁寧な説明を行った。その結果、「十分な対応である。」、「不安はあるが、これだけの対応をしてくれることがわかった。」、「国の関与を引き出せて良かった」との意見が多くあった。

一方で、「リニアの必要性」や「水資源と自然環境への不安」から工事に反対の意見もあったが、全体として、好意的な意見が多かった。

２　説明会の実施状況（全 22 回）

（１）来場者数等

来場者数（A）		県聞取り数（B）	対来場者数割合（B/A）
	初来場者の割合（JR 東海アンケート回答者）		
1,137 人	72%	662 人	58.2%

（２）主な意見（県職員が来場者から直接聞き取った内容）

＜環境保全措置について＞

・水資源保全に向けたＪＲ東海の取組（全量戻し、ポンプアップ）がよくわかった
・「ネイチャーポジティブ」の考え方について理解できた

＜補償確認書、モニタリング等について＞

・補償確認書の存在を初めて知った。文書として残せたことは意味がある
・国の関与を引き出せたのは大きかった
・問題が起こった時に工事を止められるか不安だったが、不測の事態が起きた場合は工事を止めると聞いて安心した

＜説明会について＞

・県職員がいてくれてよかった。安心感がある
・反対派の声は大きく目立つが、個別にＪＲ東海や県の説明を聞いて安心した
・オープンハウス形式でも良いが、他の人がどう考えているかも気になる

＜その他＞

・リニア事業に反対であり、ＪＲ東海の環境保全措置の説明には納得していない
・工事により上流の沢の生物に影響があり、県専門部会（生物部会）の結論に賛同できない